



スピーチコンテスト規則と任務

クラブ、カウンスル、ITC-Jレベルのスピーチコンテスト出場者とスピーチコンテスト委員会はスピーチコンテストの規則と任務を遵守しなければならない。

有効期限は、2025年8月1日から2026年7月31日までとする。

ITC-Jの役員会は必要が生じた場合、規則を変更する権利を有する。

規則

1. 資格

1.1. 出場資格

1.1.1. 有資格クラブの正会員であること。

有資格クラブとはITC-J、カウンスルの規定の会費及び負担金を納入しているクラブとする。

正会員とはクラブ会費、カウンスル、ITC-Jの規定の会費及び負担金を納入し、クラブ活動に参加していること。

1.1.2. 重複会員の出場は同年度内1クラブのみとする。

1.2. 出場資格の無い会員

1.2.1. 前年度優勝者

1.2.2. 各レベルのスピーチコンテスト委員長

2. 開催日

2.1. クラブ・カウンスル

2.1.1. 上部レベルコンテストの3週間前までに終了する。

2.2. ITC-J

2.2.1. ITC-J年次大会開催日に実施する。

3. 論題

3.1. 単語、語句、又はこれらを組み合わせたものとする。

3.2. クラブレベルでのみ、コンテストの3週間前に全出場者に同じ3つの論題が与えられる。

4. スピーチ

4.1. 各出場者は与えられた3つの論題の中から1つを選択して、題目をつけて作成する。

4.2. 本人独自の作成でなければならない。

4.3. 政治的、宗教的偏見を含まないこと、又物語形式にならないようにする。

4.4. 出版物を引用する場合は出典を明らかにする。

4.5. 上部レベルへ出場する場合のスピーチは、クラブと同じもの、修正したもの、又は既に与えられている3つの論題から他の論題を選択し、作成した新規スピーチでもよい。

5. 制限時間

5.1. スピーチの時間は5分以上8分以内とする。

5.2. 計時は出場者がスピーチの一部として何らかの言語を発声した時、あるいは非言語でもコミュニケーションを開始した時から始まり、全てが終了した時まで、とする。

- 5.3. 5分が経過した時から照明による合図が1分間点灯される。
- 5.4. 9分が経過した場合、計時係が起立してスピーチの停止を求める。

6. 審査

- 6.1. 3名の審査員が審査する。
 - 6.1.1. 審査員代理を1名おく。
- 6.2. 審査の対象は、印象、話し方、声の効果、言葉の使い方、身振り、スピーチ構成、内容などである。
- 6.3. 審査員の採点用紙記入時間、投票用紙記入時間はいずれも2分以内とする。

7. 審査員

- 7.1. 会員、又は会員以外でもよい。その年度内は、日本語の部、英語の部で、それぞれ1回ずつ務めることができる。
- 7.2. **審査員ができない会員**
 - 7.2.1. カウンシル、ITC-Jレベルでは、同じクラブの会員が出場する場合。但しクラブレベルではこの限りではない。
 - 7.2.2. その年度内のクラブスピーチコンテスト入賞者。
 - 7.2.3. 各レベルのスピーチコンテスト委員長。

8. 入賞者の決定

- 8.1. 入賞者は審査員の投票により決定される。
- 8.2. 1位入賞者が上部レベルコンテストに出場する。出場しない場合は2位・3位が順次出場する。
- 8.3. 順位決定・発表
 - 8.3.1. 出場者が5名以上の場合は、1位・2位・3位を決定し、3位・2位・1位の順に発表する。
 - 8.3.2. 出場者が4名の場合は、1位・2位・3位を決定し、2位・1位の順に発表する。
 - 8.3.3. 出場者が3名の場合は、1位・2位・3位を決定し、1位のみ発表する。
 - 8.3.4. 出場者が2名の場合は、1位・2位を決定し、1位のみ発表する。
 - 8.3.5. 出場者が1名の場合は、当該レベルの了承を得て、代表として上部レベルコンテストに出場できる。
- 8.4. **同点の場合**
 - 8.4.1. 1位同点の場合は全順位、2位同点の場合は2位・3位、3位同点の場合は3位のみ再審査する。
 - 8.4.2. 同点の場合は審査員が別室にて話し合い決定する。司会はスピーチコンテスト委員長が務める。

9. 異議

- 9.1. 計時に関する異議や質問は計時報告の直後にプログラムリーダーに申し出る。プログラムリーダーは対処のため、直ちにコンテスト委員長に報告する。
- 9.2. 異議提唱者は、コンテストの決定に関するいかなる異議も、決定発表から1時間以内にコンテスト委員長に書面にして提出する。
- 9.3. 書面受理後1週間以内に、コンテスト委員長と会長が精査し、結果を関係者に書面で報告する。

10. 資格確認

- 10.1. 資格申告書の作成・提出はコンテスト委員長が行う。
- 10.2. コンテスト終了後1週間以内に、上部コンテスト委員長宛に郵送又はEメールで提出する。
- 10.3. 出場者への提出完了の報告は、郵送の場合はコピーを送付、Eメールの場合はCC付帯とする。

11. 注意事項

- 11.1. **出場者**
 - 11.1.1. マイク、メモ用紙は使用してもよい。

11.1.2. 時計など計時機能を持つ機器は使用できない。但しオンラインでの実施の場合はこの限りではない。

11.2. 会場

11.2.1. スピーチ中の動画撮影はITC-Jレベルでのみ許可し、撮影はスピーカーの同意を得たうえでITC-Jが行う。

11.2.2. ビデオ機器は使用できない。

11.2.3. 携帯電話、その他妨害になる機器の電源は切っておく。

11.3. 期限内にコンテストが実施できない場合

自然災害発生などでコンテスト実施の延期を余儀なくされた場合は、直ちにITC-Jコンテスト委員長に延期の要請を申し出る。ITC-J会長と委員長が検討し、会長が決定する。

任務

1. スピーチコンテスト委員会

- 1.1. スピーチコンテストの規則に従い、コンテストの準備と監督を行う。
- 1.2. クラブレベルでのみ、クラブコンテスト3週間前に全出場者に同じ3つの論題が与えられる。
- 1.3. プログラムリーダー(会長承認)・評価者・計時係(タイマー)・投票計算係(テラー)・ページを任命し、その任務を説明する。
- 1.4. 出場者の資格を確認する。
- 1.5. 審査員の資格を確認し、選定する。
- 1.6. 審査員にコンテストに関する必要な情報、採点用紙、投票用紙などを事前に知らせ、コンテスト前か、審査員ブリーフィング時に再確認をする。
- 1.7. 結果発表の前に集計用紙、投票集計報告書が正確であるか確認する。
 - 1.7.1. コンテスト委員長は、投票集計報告書をプログラムリーダーに提出する。
- 1.8. 資格申告書をコンテスト終了後、1週間以内に上部レベルコンテスト委員長に提出する。

2. プログラムリーダー

- 2.1. 出場者の順番をくじ引きで決め、発表する。くじ引き後の変更は認められない。
- 2.2. 出場者の論題・題目を承認する。
- 2.3. コンテスト開始前、出場者と審査員の出席を確認する。
- 2.4. 計時係(タイマー)を紹介し、照明合図用具、視覚障害者用の可聴信号用具の作動を確認する。
- 2.5. 投票計算係(テラー)、ページを紹介する。
- 2.6. 審査員に採点用紙記入時間は2分であると伝える。
- 2.7. 出場者の紹介は、氏名、論題、題目、論題、題目、氏名の順で繰り返す。
- 2.8. 最後の出場者の採点用紙記入が終了後、審査員に投票用紙の記入時間は2分以内であることを伝え、記入を要請する。
- 2.9. 投票計算係(テラー)に投票用紙の回収を指示する。
- 2.10. 計時係(タイマー)の責任者に計時の報告を指示する。
- 2.11. 異議申し立ての有無を問い、有ればコンテスト委員長に報告する。
- 2.12. 聴衆に審査員と出場者を簡潔に紹介し、参加に対して謝辞を表す。
- 2.13. 審査員にコンテストについての口頭コメントを依頼してもよい。
- 2.14. 投票集計報告書に基づき入賞者を発表する。(規則8.3.参照)
- 2.15. 表彰式の司会をする。

3. 評価者

- 3.1. 会員、又は会員以外でもよい。
- 3.2. 書面評価するために必要な評価用紙、評価する出場者の氏名、論題、題目を受け取る。
- 3.3. 出場者は2名の評価者から評価を受ける。
- 3.4. 評価はコンテスト終了後、コンテスト委員長を経て出場者に渡される。

4. 計時係(タイマー)

- 4.1. 2名が担当し、2名のうち1名が責任者となる。
- 4.2. コンテスト開始前、2つのストップウォッチ、照明合図用具、視覚障害者用の可聴信号用具を点検し作動させてみる。
- 4.3. 出場者から目視できる席に着く。
- 4.4. 計時は出場者が何らかの言語を発声した時から、又は非言語でもコミュニケーションを始めた時から開始し、全てが終了した時点で終える。
- 4.5. 5分が経過した時、照明による合図をし、60秒間点灯する。視覚障害者には可聴信号を送る。
- 4.6. 9分が経過した場合、責任者は起立してスピーチの停止を求める。
- 4.7. 出場者のスピーチの所要時間を正確に記録する。
- 4.8. 計時係責任者は計時報告書を氏名ではなく出場順に番号で読み上げる。
- 4.9. 審査時間の計時にも対応する。

5. 投票計算係(テラー)

- 5.1. 2名が担当し、2名のうち1名が責任者となる。
- 5.2. 事前に役割、採点方法について口頭による説明を受ける。
- 5.3. 投票用紙を回収後、投票を集計し、採点をする。
- 5.4. **採点**
 - 5.4.1. 1位—15点 2位—10点 3位—7点
 - 5.4.2. 制限時間より1秒不足、又は1秒超過する毎に1点の減点となる。
- 5.5. 採点后、投票集計報告書を作成する。
- 5.6. 投票用紙、集計用紙、投票集計報告書、計時報告書をコンテスト委員長に提出する。

6. ページ

- 6.1. 各出入口に位置し、スピーチ中の人の出入りが無いように気を配る。
- 6.2. スピーチ中は会場への出入り、ノック、ドアの開閉は禁止であることを示す表示を出入口に掲げる。

7. エスコート

- 7.1. 審査員をエスコートする。但し必ずしも置かなくてもよい。

文 書 名	「スピーチコンテスト規則と任務」
発行年月日	2025年9月30日
発 行 者	ITC-J第44期スピーチコンテスト委員会